

(様式第2号)

## SDGsの達成に向けた重点的な取組み宣言書

作成日: 令和7年10月4日

事業者名: 株式会社 中日本ランドスケープ

三側面	SDGsの達成に向けた重点的な取組み	関連するSDGsゴール (最大3つ)	実績	指標・目標	
環境	緑化事業を通して、CO <sub>2</sub> 削減・カーボンニュートラルに取り組んでいきます。	⑪住み続けられるまちづくりを, ⑬気候変動に具体的な対策を, ⑭海の豊かさを守ろう	<ul style="list-style-type: none"> <li>・植栽工事を通じて、より多くの植物を植えている。</li> <li>・会社の余剰地に、植物を植えている。</li> <li>・会社事務所周辺に、数多くのプランターを設置している。</li> </ul>	<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・二酸化炭素削減</li> </ul>	<p>目標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2030年度までに、会社敷地内緑地を30%以上増やす。</li> <li>・2030年度までに、樹木植栽に関わる仕事の受注を30%以上増やす。</li> </ul>
社会	・地域災害協定・ボランティアへの参加。	③すべての人に健康と福祉を, ⑪住み続けられるまちづくりを	<ul style="list-style-type: none"> <li>・岐阜県造園緑化協会を通じて岐阜県との災害協定締結。</li> <li>・岐阜県造園緑化協会本巣支部を通じて瑞穂市及び本巣市との災害協定締結。</li> <li>・瑞穂市親睦交流会を通じて年に2回、地域の除草・公共施設の樹木剪定のボランティア活動。</li> <li>・弊社独自に年に2回の堤防ごみ拾いボランティアの実施。</li> </ul>	<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・活動をより理解してもらい、今まで以上に会員の増加を促す。</li> <li>・活動をより理解してもらい、地域各種団体や地域の住民を巻き込んだ活動の推進。</li> </ul>	<p>目標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2030年度までに、参加者の増員を30%増やす。</li> </ul>
経済	・従業員へのボランティア活動有給化の取り組み。	⑧働きがいも経済成長も	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各ボランティア活動に参加する従業員への待遇を有償化し、ボランティア活動へ積極的に参加できるよう実施した。</li> </ul>	<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ボランティア活動へ参加する従業員への賃金待遇向上。</li> </ul>	<p>目標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2030年までに、ボランティア参加従業員給与・参加費用をより増やせるようにする。</li> </ul>
ガバナンス	チェック	<p>SDGsの達成に向けた重点的な取組みが従業員に共有されており、かつ達成するための仕組みが組織内に構築されている(PDCAサイクル等)。</p> <p>&lt;具体的な内容を記載&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・重点項目の実施活動を社内発表し成果や必要性の共有</li> </ul>			
	☑	<p>SDGsの達成に向けた重点的な取組みをホームページ等で対外的に公表している。</p> <p><a href="http://www.yohonsha-japan.co.jp/publics/index/20/">http://www.yohonsha-japan.co.jp/publics/index/20/</a></p>			